

提言 骨子（案）へのコメント集約（第7回委員会、タスクフォース会議）

1. 提言の在り方：網羅的 or 焦点化、立ち位置、ストーリー性、出口戦略（行政の連携、法整備、生み出される科学技術等）、将来像
2. 多様な対象：災害の状況の違い、気候変動の影響、国の発展段階(途上国（低い識字率）と先進国)、所得格差、政策決定における科学技術の位置づけ、都市化の速度)への対応を含め、どう世界に展開するべきか。
3. 防災－環境（持続可能な開発目標、特に貧困）の連携の在り方
4. 「現場」での対応の必要性
5. 人間欲とその抑制、生きる力と心の充足
6. ガバナンスへの貢献：global, national, local の各段階と科学技術の役割
7. 国連機関や国際援助機関への発信
8. レジリエンスの定義：予測力、予防力、対応力の3つの力の積分值
9. 自助・共助・公助の位置づけ
10. OSS の内容
11. ファシリテーター（例えば、地方大学の役割）の内容